

一般社団法人 日本物理学会
第 81 期物理学史資料委員会（2025 年 4 月～2026 年 3 月）活動報告

委員長： 有賀 暢迪

副委員長： 渡辺 雅之

委員： 小長谷 大介、佐々木 孝彦、所澤 潤（～2025 年 6 月）、高岩 義信、
高橋 浩（2025 年 10 月～）、棚橋 誠治、難波 忠清、林 春雄、村上 泉、
岡本 拓司（担当理事）

1. 委員会の開催

- ・以下の通り、3 回の会議を開催した。

第 130 回：2025 年 4 月 29 日（火祝）10：00～11：50、オンライン（Zoom）

第 131 回：2025 年 8 月 30 日（土）10：00～12：15、オンライン（Zoom）

第 132 回：2026 年 1 月 11 日（日）13：00～15：00、オンライン（Zoom）

2. 日本物理学史資料の保存と活用に向けた検討

（ア）資料保全に関する助言

- ・会員等から寄せられた資料に関する相談について、対応を実施した。

（イ）「日本物理学史資料の取扱基準」の改訂に向けた検討

- ・本会創立 150 周年に当たる 2027 年の改訂に向けて、論点整理をおこなった。

3. 各種事業の実施

以下の経常的活動ならびに本会創立 150 周年に向けた事業について、それぞれワーキンググループ (WG) を設置し、随時取り組みを進めた（下線は WG チーフ）。

（ア）情報収集・発信〔渡辺、佐々木、棚橋、高岩〕

- ・『日本物理学会物理学史資料委員会ニュース』No. 10（2025 年 9 月 22 日）を発行した（HP 掲載）。

（イ）学会所蔵資料〔有賀、岡本〕

- ・蒲生秀也氏〔故人〕の書簡資料について、仮目録作成とデジタル化をおこなった。
- ・平川浩正氏（1929-1986）が所蔵していた、学会百周年（1977 年）記念の催しの際に来日した著名物理学者のサインが記された色紙（額付き）が、東京大学物理学教室から学会に寄贈された。
- ・記念事業として計画されているデジタルアーカイブで公開する資料の検討を進めた。

（ウ）学会史年表〔並木、岡本、難波、村上〕

- ・本会の『年表』（第二版）Web 版に 2017 年以降の情報を追加していく準備を進めた。

(エ) 「学会の歩み 150 年」連載〔小長谷、岡本〕

- ・「学会 150 年史連載編集グループ」を統括し、『日本物理学会誌』にて Part 1 (通史記事) および Part 2 (テーマ記事) の連載を進めた。

(オ) 「日本の物理教育 150 年」連載〔並木、所澤→高橋〕

- ・『大学の物理教育』での連載を進めた。

(カ) オーラルヒストリー〔林、所澤→岡本、高岩〕

- ・会長経験者を中心としたインタビューとして、新たに 3 名へのインタビューを実施した。
- ・前期までに実施したインタビュー記録の編集作業を進めた。

(キ) 資料情報データベース〔有賀、高岩〕

- ・「日本物理学史資料概要目録」データベースの仕様について検討した。
- ・データを掲載する機関に対して発行する依頼文書の案を作成した。

4. その他

- ・所澤委員が 2025 年 6 月 10 日に逝去された。
- ・国立科学博物館の企画展「量子の世紀」(2025 年 10 月 21 日～11 月 30 日) に、本会の所蔵資料(小谷正雄のノート 1 冊)を貸し出した。